平成 19 年 7 月 13 日（金）公表

日本放送協会第 1047 回経営委員会議事録
(平成 19 年 6 月 26 日開催分)

第 1047 回 経 営 委 員 会 議 事 録

＜会 議 の 名 称＞
第 1047 回経営委員会

＜会　議　日　時＞
平成 19 年 6 月 26 日（火）午後 3 時 30 分から午後 6 時まで

＜出　席　者＞
〔委　　員〕

◎古　森　重　隆	○多賀谷　一　照	野　間　光輪子
小　丸　成　洋	梅　原　利　之	保　　ゆかり
一　力　徳　子	飛　田　稔　章	菅　原　明　子
岩　崎　芳　史	小　林　英　明	

◎委員長　○委員長職務代行者（以下、「代行」という。）

〔監　　事〕

古　閑　監　事	坂　野　監　事	落　合　監　事

〔役　　員〕

橋　本　会　長	永　井　副会長	原　田　専務理事
畠　山　理　事	小　林　理　事	金　田　理　事
中　川　理　事	石　村　理　事	西　山　理　事
日　向　理　事	溝　口　理　事	八　幡　理　事

＜場　　所＞
放送センター　　22 階経営委員会室、21 階役員会議室

＜議　　事＞
　議事に先立ち、経営委員のみの会議を実施。梅原代行が開会を宣言し、6 月 20 日付で経営委員に新しく任命された古森委員、野間委員、飛田委員、岩崎委員、小林委員および再任された小丸委員を紹介後、本日の付議事項および日程について説明。まず、コンプライアンス委員会から最終答申を受領。その後、委員長の選出に移った。まず、経営者としての実績や東京在住であることなどの選考基準が提起され、他にも委員からは、ＮＨＫはさまざまな問題を抱えており、委員長には企業の経営者が好ましいこと、経営委員会を円滑に運営するためには、東京在住が望ましいこと等の意見が出され、複数の候補者の中から古森委員が推挙された。古森委員が所属する企業とＮＨＫとの取引は当該企業の 0.02％程度であり、特別な利害関係にはないことや本人の意思を確認した後、全会一致で古森委員を

経営委員会委員長に選任。これ以降、古森委員長が議事をとり、委員会として多賀谷委員を委員長職務代行者に定めた。また、評価・報酬部会委員として、多賀谷、深谷、小丸、菅原、岩崎各委員を、指名委員会委員として、古森、野間、梅原、保、一力、飛田、小林各委員を、コンプライアンス委員会担当委員として多賀谷、小林の各委員を、コンプライアンス等に関する執行部との意見交換メンバーとして古森、多賀谷、菅原各委員をそれぞれ決定。引き続き全体会議に移り、第 1046 回経営委員会（平成 19 年 6 月 12 日開催）議事録を承認し、所要の手続きを経て、平成 19 年 6 月 29 日に公表することを決定。

＜以下、省略＞